

## 今週（6月26日から6月30日）の短期金融市場動向

## ●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、先週に引続き邦銀業態の消極的な資金調達姿勢を背景に、レートは低位で推移した。無担保コールO/N物の加重平均レートは、6月26日が▲0.075%、27日が▲0.074%、28日が▲0.076%、29日が▲0.075%と、狭いレンジでの推移となった。

ターム物に関しては、期末を控え取引は閑散となった。

日銀当座預金残高は、財政等要因や各種金融調節により552兆円程度から545兆円程度での推移となった。

## ●レポ市場

今週のGC T/N物は▲0.085～▲0.08%で推移する展開となった。29日は四半期末跨ぎとなり、レート低下への警戒感があつたものの、投資家・業者のオファーが優勢となった事で、前日までと同様に横ばい圏での推移となった。

SC取引の個別銘柄では、2Y438～449回、5Y149～158回、10Y351～370回、20Y180～184回、30Y65～78回、40Y10～15回などで引合いが多く見られた。

## ●短国市場

今週の短国市場は、前週の3M物入札や27日の短国買入オペの結果を受けて、3Mゾーンや6Mゾーンを中心に軟調に推移する展開となった。

入札に関しては、30日に3M物が実施され、按分落札利回り▲0.1162%、平均落札利回り▲0.1283%と、弱めの結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、落ち着いた展開となった。

短国買入オペは、27日に前回と同額の1,000億円でオファーされ、按分利回較差+0.023%、平均利回較差+0.024%と、弱めの結果となった。

## ●CP市場

今週のCP市場は、月末週にあたり複数の業態で大型発行が見られたものの、四半期末の大量償還を含むことから、週間の発行総額2兆9,900億円程度に対して、償還総額は4兆4,500億円程度と大幅な償還超のマーケットとなった。

市場発行残高は、一時27兆円台に達したものの、月末に向けて償還が多くあったことから、週後半には再び26兆円台後半での推移となった。

発行レートは、四半期末を控え需給の改善が見られた事から、大型案件であっても足切レートが流れる事は無く、概ね0%から小幅なプラスレートでの決着が中心となった。

CP等買入オペは、27日に事前予定通り4,000億円でオファーされた。応札額は7,218億円で前回（5,646億円）から増加し、按分落札レートは0.014%と、前回（按分落札レート▲0.007%、平均落札レート0.006%）比で按分・平均ともに上昇した。

## ●短期金融市場関連指標

|         | 日経平均（円）   | 新発10年物<br>国債利回り（%） | 為替<br>（ドル/円中心相場） | 無担保コールO/N<br>（加重平均・%） | 東京レポレート（翌日物・<br>T+1スタート・%） | 日銀当座預金残高<br>（億円） |
|---------|-----------|--------------------|------------------|-----------------------|----------------------------|------------------|
| 6/26（月） | 32,698.81 | 0.350              | 143.43           | △ 0.075               | △ 0.086                    | 5,519,600        |
| 6/27（火） | 32,538.33 | 0.370              | 143.44           | △ 0.074               | △ 0.086                    | 5,518,500        |
| 6/28（水） | 33,193.99 | 0.385              | 143.91           | △ 0.076               | △ 0.087                    | 5,497,500        |
| 6/29（木） | 33,234.14 | 0.380              | 144.25           | △ 0.075               | △ 0.086                    | 5,494,600        |
| 6/30（金） | 33,189.04 | 0.395              | 144.88           | △ 0.077               | △ 0.085                    | 5,444,500        |

## 来週（7月3日から7月7日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

|         | 国内主要経済指標                                                                                                    | 国債等入札予定                    |                         |                             | 海外主要経済指標                     |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|-------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 7/3 (月) | 6月調査の日銀短観(概要及び要旨,日銀 8:50)                                                                                   |                            |                         |                             | 6月のISM製造業景況指数<br>5月の米建設支出    |
| 7/4 (火) | 6月のマネタリーベース(日銀 8:50)<br>財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)                                                      | 10Y<br>27,000億円<br>7/5発行   |                         |                             | New York祝日(Independence Day) |
| 7/5 (水) | 7月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)                                                                                   |                            |                         |                             | 5月の米製造業新規受注・出荷・在庫            |
| 7/6 (木) |                                                                                                             | TB6M<br>40,000億円<br>7/10発行 | 30Y<br>9,000億円<br>7/7発行 | 交付税借入<br>13,000億円<br>7/18借入 | 5月の米貿易収支<br>6月のISM非製造業景況指数   |
| 7/7 (金) | 5月の全世帯家計調査(総務省 8:30)<br>5月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30)<br>5月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)<br>6月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) | TB3M<br>58,000億円<br>7/10発行 |                         |                             | 6月の米雇用統計                     |

### ●資金需給予想

| 単位：億円   | 銀行券要因 | 財政等要因     | 資金過不足     | オペ種類         | 期日分     | 新規実行分  | オペ合計    | 実質過不足    | 需給要因                                                  |
|---------|-------|-----------|-----------|--------------|---------|--------|---------|----------|-------------------------------------------------------|
| 7/3 (月) | 200   | ▲ 36,800  | ▲ 36,600  | 国債買入<br>国債補完 | 44,100  | 14,100 | 58,200  | 21,600   | 期日前税揚げ<br>TB3M発行▲63,000償還59,400<br>2Y発行▲29,000償還5,200 |
| 7/4 (火) | 1,000 | ▲ 33,000  | ▲ 32,000  |              |         |        | 0       | ▲ 32,000 | 税・保険料揚げ                                               |
| 7/5 (水) | 500   | ▲ 27,000  | ▲ 26,500  | 全店共通         | ▲ 8,900 |        | ▲ 8,900 | ▲ 35,400 | 10Y発行▲27,000                                          |
| 7/6 (木) | ▲ 500 | 1,000     | 500       |              |         |        | 0       | 500      | 恩給                                                    |
| 7/7 (金) | ▲ 300 | ▲ 6,000   | ▲ 6,300   |              |         |        | 0       | ▲ 6,300  | 30Y発行▲9,000                                           |
| 週 間 合 計 | 900   | ▲ 101,800 | ▲ 100,900 | —            | 35,200  | 14,100 | 49,300  | ▲ 51,600 |                                                       |

7/3は日銀予想、7/4以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、引き続き邦銀業態からの調達ニーズが弱く、低めのレート推移が予想される。債券レボ GC T/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、引き続き▲0.085～▲0.08%近辺で推移することが見込まれる。短国市場は、6日に6M物、7日に3M物の入札実施が予定されている。また、4日に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、期明けの発行となり、案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では、3日に6月調査の日銀短観、海外では、3日に6月のISM製造業景況指数、6日に6月のISM非製造業景況指数、7日に6月の米雇用統計などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入